

2024年 セキュア ソフトウェア開発教育調査

ソフトウェア開発に直接携わる専門家の28%が、セキュアなソフトウェア開発に関する知識が不足しています。




経験年数1年未満のソフトウェア開発者が最も知識不足であると回答しました(75%)。




専門家の69%は、セキュアなソフトウェア開発の教材として実務経験を重視していますが、知識を習得するまでに**5年以上の実務経験**が必要です。



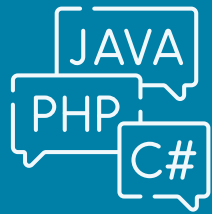
専門家の50%が、セキュアなソフトウェア開発における**主な課題はトレーニング不足**と考えており、特にデータサイエンス職で顕著です(73%)。




53%の専門家、特にシステム運用担当者(72%)は、セキュアなソフトウェア開発に関するコースを受講していません。その主な理由は、**優れたコースに関する認識不足**(44%)です。



79%の専門家は、プログラミング言語に依存しないコースを非常に重要だと考えています。一方、プログラミング言語固有のコースについて54%の専門家が重要視していました。



プログラミング言語に依存しないコースとして人気があるコンテンツは、**セキュリティアーキテクチャー**(64%)、**セキュリティ教育とガイダンス**(64%)、**セキュアな実装**(63%)でした。



トレーニングの必要性については、**専門性と経験値**によって考え方に違いがありました。




プログラミング言語固有のトレーニングで人気が高かったのは**Python**で、回答者の71%が選択しましたが、重要な言語として上位の選択肢に多く選ばれたのは、CとJavaでした。



回答者の57%が、今後、セキュアなソフトウェア開発において、イノベーションが必要な注目分野は**AIとMLのセキュリティ**であると考えています。



回答者の56%が、**サプライチェーンのセキュリティ**は、より一層の注力とイノベーションが必要な重要分野だと考えています。



セキュアなソフトウェア開発に対する教育を充実させるため、OpenSSFは新しいコースのトピックとして**セキュリティアーキテクチャー**を選択しました。

